



地域再発見 一宮町石地区
ウォーキングマップ

発行者：一宮町を考える会 作成者：早川由希

いし 石

石は、石下（石廩村下宿）・石中（石廩村中宿）・鈴郷が明治8年に合併した地区である。3月の山宮祭では、石下→石中→鈴郷→山宮神社と神輿が通過してゆく。

Start & Goal ちびっこ広場（通称：お伊勢原・大神さん） **P**

散策所要時間：約2時間
 登山者：約4時間

①お伊勢原・御じょう河原（おいせつばら・ごじょうがわら）
 山宮祭の水防祈願神事が行われる所である。可愛い伊勢社（祭神・天照大神）を祀っている。元旦には、拝賀式を行う。



②櫃飯（ひついい）神社
 通称：おひついさん。祭神・建御名方（タケミナカタ）命で山宮祭のお旅所。神社名通り神輿が休憩して食事を取る所。石下公民館の裏、大きな桜の木の横にある。



③道祖神・石尊山（どうそじん・せきそんざん） ④大光院（だいかういん）
 大光院は曹洞宗の寺院。入口には地藏がありますが建物が寺社造り風でなく、住宅の裏にあるのでわかりにくいかもしれない。



⑤庚申堂（こうしんどう）
 椿の近くにあり、その根元には地藏や百番供養もある。敷地は狭いが、お堂の前で今でもお祭りが行われている。



⑥八幡社（はちまんしゃ）
 石中公民館の後ろに本殿がある。祭神は誉田別命（ホムタケノミコ）。境内に祀られる石尊や道祖神は中央道の開通工事に伴い移されてきた神様たちだそう。



⑦石林寺（せきりんじ）
 臨済宗妙心寺派。昔は山極までの大きな寺だったようだが、水害で流され現在の規模になっている。大きな枝垂桜、多くの石像、南アルプスまで見渡せる絶景など桃の花の季節には最高。



⑧三階建ての蔵（さんかいでてのくら）
 ほかの場所から移築したものだが、なかなか見応えがある。



⑨天宝神（テンボウジン）
 蜂城山入口横に通称：おてっぽうさんと呼ばれる雨乞い行事の場所がある。池には自然水が湧き、池の中には石の祠が。中には「火玉（赤石）」「水玉（青石）」が祀られている。毎年8月に祭事は行うが、雨乞いは行われていない。



⑩蜂城山入口（はちじょうさんいりぐち）
 738mの山頂まで約50分かかる。頂上には蜂城天満宮（菅原道真公）が祀られている。祭礼は8月25日（宵宮24日）、町内の書道作品展示・表彰もしている。



⑪山宮神社・夫婦杉（やまみやじんじゃ・めおとすぎ）
 3月15日前の日曜日に祭礼が行われる。浅間神社の木花開耶姫命（コノハナサクヤヒメ）が年に一度里帰りをする。祭神・父：大山祇命（オオヤマズミノミコト）・夫：瓊々杵命（ニニギノミコト）本殿は国指定重要文化財。ご神木の夫婦杉は樹齢300年以上。高さ37m。幹回り5.3mと5mの2本の杉の根本が一つになり根回りはなんと10.3m。見応えがある。参道は20分ほどかかりますが「神山」を体験してみてください!!

